

資料編

日々の耕し

- 少人数グループ（3～4人）
- ペアトーク
- サイコロスピーチ
- スピーチメモ
- 話し方・聞き方 「あいうえお」
- 話型・モデルの提示 「話し合いのことば」

<少人数グループ（3～4人）>

話す機会を確保できるよう、少人数（3～4人）での話し合いを国語科に限らず様々な教科・領域で行った。机の合わせ方も、一般的な合わせ方に限らず、三角形、風車型など児童の実態に応じて話しやすいよう工夫した。



<ペアトーク>

2人組になり、1つのテーマについて時間いっぱい（実態に応じて1分間や2分間）話す練習をした。話し手が話したことについて聞き手は相槌を打ったり、うなずいて共感したりしながら話を聞いた。共感的な話の聞き方が会話を弾ませることに繋がると気付くことができた。



資料1

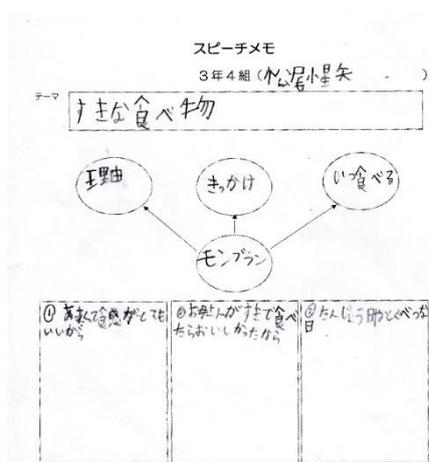
<サイコロスピーチ>

朝の会等で行う日直のスピーチの時に、サイコロを振り、出た目のテーマについてスピーチを行った。当日その場で振る、前日に振るなど、児童の実態に合わせて取り組んだ。自己紹介や好きなこと・ものから始め、様々なテーマについて楽しみながらスピーチすることができた。



<スピーチメモ>

日直が前日にスピーチメモを作成し、朝の会等でメモを見ながら話す練習をした。テーマからウェビングマップを用いて話題を広げ、それを簡単にメモできる枠を用意し、児童が自由に書き込めるようにした。簡単なメモだが、書いていないことも付け加え、1~2分程度のスピーチを行うことができた。メモだけでなく、聞き手も見ながら話すことができるようにした。



<話し方・聞き方あいうえお>

話し合いの際に提示し、話すとき、聞きときの目安になるようにした。



<話し合いのことば>

語彙指導の一環として、話し合いのときに使える言葉の一覧を配布し、指導した。話すことに苦手意識のある児童は見ながら話してもよいこととした。

話し合いのことば



考え	～は、…です。 ～と思います。 ～に賛成(反対)です。 もし自分だったら、…。 ～さんと似ていて(違って)、…です。 ～という考えもあるけれど、…と思います。
あいづち	なるほど たしかに いいね そういう考えもあるね ああ そうだね さすがだね
理由	理由は、〇つあります。一つ目は、～、二つ目は、～。 なぜなら、～からです。
つけたし	～さんの意見に付け足すと、…。
質問	～さんに質問です。…について、もう少し詳しく教えてください。 ～はどういうことですか。 理由は何ですか。 どこから～がわかりますか。
問いかけ	みなさんは～ですか。 ～はどうでしょう。
おぼく 推測	～でしょう(だろう)。 ～かもしれません。 たぶん、～と思います。
比べる	AとBを比べると、～が違います(同じです)。 ～に対して、…です。 一方、～。
順序	まず(最初に)、～、次に、～、最後に、～。
たとえ、説明	くわしく言うと、～。 例えば、～。 具体的に言うと、～。
まとめ	つまり、～。 まとめると、～。 このように、～。
仲間分け	AとBは、～という点で似ている(違う)から、同じ(違う)仲間です。
名前づけ	AからCの仲間をまとめると、～という名前になります。
しょうてん 焦点化	特に～は、…です。
変化	だんだん～と変化しています。(なっています)
見方の変更 めくら	Aから見ると～ですが、Bから見ると…だと思えます。

(1) 授業実践 第1学年

1 単元名 先生の「とっておきじょうほう」をつたえあおう

(主な教材：学校のことをつたえあおう 教育出版)

2 単元目標

- ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。

[知識及び技能]

(1)イ

- ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫することができる。

[思考力、判断力、表現力等] A(1)ウ

- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

3 単元観

本単元では、知りたいことを先生にインタビューしたり、そこで知ったことを友達に報告したりする言語活動を設定した。インタビューの準備から発表まで、2～3名のグループを作って活動する。「話し方」を重点とし、第一次、二次では、グループ、先生にインタビュー、全体と、その時の伝えたい事柄や相手または場に応じて、声の大きさや速さなどを考え、工夫することをねらい通している。インタビューの後、クラス全体に向けて「とっておきじょうほう」を発表する。クラス全体に聞こえる声の大きさや速さを考え、姿勢よく明確な話し方ができるようグループでアドバイスし合いながら練習する。第三次では、発表を通してよかった点をグループで相互評価したり、自分で振り返ったりしながら、よりよい話し方を学べるようにする。このような学習活動から、伝えたい事柄や相手、場に応じて声の大きさや速さを考え、姿勢や発声などに気を付け明確に話すことを身に付けさせていきたい。

4 児童の実態(34名在籍)

児童はこれまでに「こえのおおきさどれくらい」で場や人数に応じた声の大きさについて学んでいる。場や人数に応じた声の大きさや速さを考えることや明確に話すことは、グループ活動や発表の場面で学んできている。グループで話す時、よく聞こえる声で話すことができると答えた児童は約8割だったのに対し、クラス全体に向けて話す時、よく聞こえる声で話すことができると答えた児童は7割に満たなかった。主な理由として、「恥ずかしい」「緊張してしまう」「失敗したらどうしようと思う」「笑われたらどうしようと思う」という点を挙げており、不安感から自信をもって発表できていないことが分かる。さらに実際の発表を見ていると、クラス全体に向けて話す時にも、全員に聞こえる声の大きさや速さで明確に話すことができている児童は半数程度であり、特に自分の考えを発表する場面では、自ら挙手して発言している児童でも半数程度は声が小さかったり、明確に話せていなかったりしており、自分の意識と実際の声の大きさなどには差があることが分かる。

5 指導の実際

【仮説1】

児童の関心や経験を踏まえた言語活動を設定し、単元計画を工夫することで、主体的に話し合うようになるだろう。

<言語活動の設定>

本単元では、「せんせいの『とっておきじょうほう』をつたえあう」という言語活動を設定した。一人一つずつ自分しか聞かない内容をインタビューすることで、友達は誰も知らない「とっておきじょうほう」を伝えたい、聞きたいという意欲を高めていく。



実際に先生にインタビューに行き、友達にとっておき情報を伝えるという目的があることで、聞いてきたことを伝えたいという意欲が高まった。また、日頃の発表やスピーチでは固まって話せなくなってしまいう児童も、質問内容や発表内容を考える話し合いでは、積極的に話すことができた。

<単元計画の工夫>

学習のゴールを示すと同時に学習計画を立てることで、見通しをもって学習に取り組めるようにした。また、毎時間の最後に振り返りの時間を設け、どのようなことができるようになったかや、大事なことを振り返ることができるようにした。



学習計画を立てたことで、友達にとっておき情報を伝えるために、今日の学習では話し方を学ぶ、質問

を考える、リハーサルをする…などのように、ゴールに向けて自分が今どの段階にいるのかを確認しながら進めることができた。また、毎時間の最後に振り返りの時間を設けたことで、できるようになったことや分かったことを自覚し、達成感を味わったり、次への意欲をもったりすることができた。

【仮説2】

タブレットを活用し、学習活動の方法を工夫することで考えが広がったり、深まったりするだろう。

<知識・技能の習得を図る場面>

インタビューや発表の練習をする際に、タブレット端末で録画しアドバイスをし合う。録画した映像を自分で見ることで、自分の意識と実際の話し方の差に気付かせていく。その上で練習を繰り返すことで、より良い話し方に近づいていくことができるだろうと考える。



撮影した動画を見て自分の姿を振り返ったことで、自分でイメージしていた発表姿よりも手や体が動いていたり、視線が下がっていたり通していることに気付くことができた。また、撮影した動画を繰り返し見てアドバイスしたり、何度か撮影した動画を見比べたりしたことで、良くなった点やまだ改善できそうな点に注目することができた。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 (1)オ)	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫している。 (A(1)ウ)	進んで、伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さを工夫し、今までの学習を生かして伝えよう通している。

7 指導と評価の計画（全7時間）

次	時	学習内容と学習活動	評価規準・評価方法
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生にインタビューし、わかったことを発表するという見通しをもち、学習計画を立てる。 ○インタビューする先生を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員の写真や地図をもとにグループごとに話し合い、インタビューする先生を決める。 	
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ○「声のものさし」と「はなしかた名人」のポイントを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・声のものさしを確認し、相手や場に応じた声の大きさを考える。 ・よい話し方通して、「よく聞こえる声の大きさ」「よく聞こえる速さ」「はきはきと」「姿勢よく」の4つの「はなしかた名人」のポイントを知る。 ○質問する内容を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で「とっておきじょうほう」が知れる質問内容を考える。 ・グループごとに話し合い、一人一つずつ質問を決める。 	<p>[思考・判断・表現] <u>観察・ワークシート①</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した声の大きさと、グループ内で話す時の声の大きさや速さを考えて話している様子。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書をもとにインタビューの仕方を確認する。 ・グループごとに質問の順番や挨拶の担当を決め、インタビューの練習をする。 ・インタビューの練習をタブレット端末で録画し、アドバイスし合う。 	<p>[思考・判断・表現] <u>観察・ワークシート②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した声の大きさと、インタビューでの声の大きさや速さを考えて練習している様子。
	休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューする。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに先生にインタビューしに行く。 ・理由などをさらに質問し、詳しく教えてもらう。 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューで聞いたことをメモに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで聞いたことを思い出してメモに書き、整理する。 ○発表の内容を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・メモをもとに、発表で話す順番を決める。 ・始めの言葉や終わりの言葉の担当を決める。 	<p>[思考・判断・表現] <u>観察・ワークシート③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した声の大きさと、グループ内で話す時の声の大きさや速さを考えて話している様子。

	5 (本時)	<p>○発表の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はなしかた名人」のポイントに気を付けて話すことができるように練習する。 ・グループ内でお互いに見合い、アドバイスをし合う。 ・タブレット端末で録画し、自分が話している姿を確認する。 	<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>観察・録画映像</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりを通して、声の大きさや速さを工夫し、よりよい話し方をしようと自分の話し方を見直している様子。
	6	<p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、インタビューで知った「とっておきじょうほう」を伝える。 ・発表を聞いたら、感想を伝える。 	<p>[知識・技能]</p> <p><u>発表・発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢や口形に気を付けて、はきはきと話している様子。 <p>[思考・判断・表現]</p> <p>発表・発言・ワークシート③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入した声の大きさと、クラス全体に聞こえる声の大きさや速さを考えて話している様子。
第三次	7	<p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、学んだことやできるようになったことを振り返る。 	<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことやできるようになったことの記述。

8 本時の指導

(1) 評価規準

- ・友達との関わりを通して、声の大きさや速さを工夫し、よりよい話し方をしよう通している。

[思考・判断・表現]

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	<p>1 本時の学習と学習のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>こえの大きさやはやさをくふうして、「はなしかた名人」になろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画をもとに本時の学習内容を確認し、発表会に向けての練習をするという見通しをもたせる。 	<p>学習計画表</p>

5	<p>2 「はなしかた名人」になるためのポイントを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞こえやすい声の大きさで話す。 ・声の大きさは3がいい。 ・聞こえやすい速さで話す。 ・ゆっくり話す。 ・はきはきと話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を示し、全員が確認できるようにする。 ・今までのグループ活動やインタビューでの声の大きさとは違うことに気付かせるために、声のものをさしを確認する。 ・よくない発表の仕方を示し、改善すべき点を考えさせる。 	はなしかた名人のポイント 声のものをさし
10	<p>3 グループごとに練習し、アドバイスし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりできているから、もっと声の大きさを大きくしたほうがいいよ。 ・声は良く聞こえるから、ゆっくり話したほうがいいよ。 ・大きな声でいいね。はきはきと話すともっと聞きやすいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善点を伝えるだけでなく、良い点も伝え合うように指導する。 ・机間指導し、発表の流れができていないか確認する。 	
17	<p>4 グループごとにタブレット端末で録画し、自分の話し方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったよりも早口だった。 ・もっと大きな声で話しているつもりだった。 ・姿勢をカッコよくしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・録画することで、客観的に自分の話し方を見直せるようにする。 ・一度目の録画で気付いた点を改善できるように、再度練習したりアドバイスしたりするよう指導する。 ・二度目の録画を行い、練習の成果を確認させる。 <p>○録画した自分の発表を振り返り、声の大きさや話す速さを工夫したり、姿勢や発声に気を付けて話そうとしたりしている。</p> <p>[思考・判断・表現] 観察・録画映像</p>	タブレット
8	<p>5 本時のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で話せるようになってきた。 ・早口になってしまうから、発表会では気を付けたい。 ・自分で思っていたよりも声が小さかったから、もっと大きな声で話したい。 ・練習して、「はなしかた名人」になれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習を通して学んだことやできるようになったことを共有する。 	

(2) 授業実践 第3学年

1 単元名 原っ子オリジナル絵文字をしょうかいしよう

(主な教材：絵文字で表そう 教育出版)

2 単元の目標

- ・比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- ・目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめることができる。 [思考力，判断力，表現力等] A オ
- ・言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 「学びに向かう人間性等」

3 単元観

本単元は，グループで意見を伝え合い，話し合う活動を通し，特別教室を表す絵文字を考え，それをクラスで紹介し合う言語活動を設定した。原小学校に通う自分たちだけのオリジナルの絵文字を作るという目的のもと，役割を明確にし，司会や記録，発言者の役割を果たしながら，話し合いでみんなの意見を一つにまとめる力を付けることをねらい通している。児童にとって，話し合いを通して個々の意見を一つにまとめることは初めての学習である。この学習を通し，司会や記録などの仕方を学ぶとともに，反論の仕方なども学び，話し合いのスキルアップを目指していく。

4 児童の実態 (36名在籍)

児童はこれまでに「気持ちを伝える話し方・聞き方」の学習を通して，言葉にはいろいろな意味が込められていることを知り，気持ちが伝わる話し方や聞き方について考えてきた。また，毎朝の日直のスピーチでは，スピーチメモを作り，友達の前で自分の考えを伝えたり，それを聞いて感想を伝えたりすることを行っている。いくつか項目立て，以前よりも詳しく話そうとしたり，相手を意識して大きな声で話そうとしたりする児童が増え，聞き手もそれに対する質問や感想を伝えることができている。その反面，普段の授業では，自分の考えを大勢の人の前で話すことに抵抗がある児童が多くいるように感じている。3年生になり，学級活動では，「司会・書記」などの役割を決めて話し合い活動を行ってきたが，頑張っ

て役割を果たそう通しているものの，進行をするのみで意見をまとめるというところまでは至っていない。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。 (2)イ)	①「話すこと聞くこと」において，目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめている。 (A(1)オ)	①積極的に目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たし，学習の見通しをもってグループで話し合おう通している。

6 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一 次	1	○教材名とリード文を読み，保健室についての話し合いの例をもとに学習の見通しをもつ。	○学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し，学習の見通しがもてるようにする。	[主体的に学習に取り組む態度] <u>発言 振り返り</u> ・これからの学習することについて見通しをもっている。
第二 次	2	○絵文字にする場所を決める。 ・P20を読んで，学校のどの部屋に絵文字があると便利かを話し合い，担当場所を決める。 ・話し合いに向けて，担当場所の特徴についてもワークシートにメモを取る。	○自分たちのグループが担当する特別教室について，実際に見学したり，ワークシートにまとめたりにして，絵文字の作成に向けて，教室の役割を具体的に考えられるようにする。 ○実感を伴って理解できるようにする。	[知識・技能①] <u>ノート</u> ・担当場所の役割を積極的に考え，その特徴についてノートにまとめることができる。

	3	<p>○役割を決めて、話し合いの進め方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割それぞれの仕事を知る。 ・話し合いの仕方や工夫を見つける。 	<p>○全員がすべての役割を体験し、役割カードや教科書を参考にしながら話し合いの流れを理解できるようにする。</p>	<p>[知識・技能①] <u>ロールプレイング 振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会・記録などの役割を知り、ロールプレイングを通して話し合いの流れを理解している。
第三次	4	<p>○話し合いを行い、様々な役割を経験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別のテーマでグループごとに話し合いを行い、役割や話し合いの流れに慣れる。 	<p>○実際の話し合いの中でいろいろな役割を体験し、その役割について実感を伴って理解できるようにする。</p>	<p>[知識・技能①] <u>話し合い 振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会・記録などの役割を理解し、実際の話し合いの中で役割を果たしている。
	5	<p>○グループで話し合うために、自分の意見を示すための資料を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを使って話し合いメモを作る。 	<p>○話し合いのためのメモであるため、必要最低限の内容をかくようにする。</p> <p>○メモと合わせて、その根拠も考えさせるようにする。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] <u>ロイロノート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当する教室の役割に合わせ、説明するための資料を作成しよう通している。
	6 (本時)	<p>○グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的と話し合う内容を明確にしてから話し合う。 ・よかったことや課題を振り返り、次の発表に向けて共有する。 	<p>○話し合いのポイントや役割、振り返りのポイントが明らかになるようにする。</p> <p>○話し合いの時は、自分の考えの根拠も一緒に伝えるようにする。</p>	<p>[思考・判断・表現①] <u>話し合い 振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や進め方を理解し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。

	7 8	<p>○完成した絵文字を作成し、友達に紹介し合う。</p> <p>○話し合いの感想を伝え合う。</p> <p>○完成した絵文字を校内に掲示する。</p> <p>○学習の振り返りを行う。</p>	<p>○発表の時には、その絵文字に込められた思いまで伝えるように促す。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p><u>発表 振り返り</u></p> <p>・発表会を行い、他のグループの良さを見つけたり、自分たちの絵文字を説明したりしている。</p>
--	--------	--	---	---

6 本時の展開

(1) 評価規準

- ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめよう通している。 [思考力、判断力、表現力等]

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	1 本時の学習と学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画をもとに、本時では役割に分かれて話し合いを行っていくことを確認する。 	学習計画表
<p>話し合いを通してみんなの意見を1つにまとめ、原っ子オリジナル絵文字を作ろう。</p>			
5	2 話し合いの流れと役割を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を使い、話し合いのルールや役割について確認し、話し合いの見通しがもてるようにする。 	掲示物
2 5	<p>3 グループごとに担当する特別教室の絵文字について話し合う。</p> <p>(1) 絵文字についての話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのポイント <ul style="list-style-type: none"> ①教室の役割について ②表す絵（道具）について ③教室を表す背景の色について 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのポイントを明らかにすることで、話し合いの視点がぶれないようにする。 ・机間指導を行い、自分の考えを伝えることが苦手な児童の支援を行う。 ・ロイロノートに準備した資料を見せ合いながら、理由を付け加えて考えを伝えるように促す。 ・発表会に終始しないように、友達の意見に対して考えを伝え合うように声をかける。 	役割カード タブレット (ロイロノート) 記録用紙

<p>5</p> <p>5</p>	<p>(2) 決まったことの確認</p> <p>(3) 話し合いの振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 振り返りのポイント</p> <p>①自分の考えを、理由を明らかにして伝えることができたか。</p> <p>②それぞれの役割を果たすことができたか。</p> <p>③意見を出し合い、みんなの意見の良いところを合わせて絵文字を作ることができたか。</p> </div> <p>4 話し合いをしてよかったところを全体で共有する。</p> <p>5 学習の振り返りをする。</p>	<p>○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。</p> <p style="text-align: right;">[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録係を中心に、決定事項を確認させ、みんなの意見が集まって素敵な絵文字が作れるということ認識し、話し合うことの良さを実感させる。 ・自分たちの話し合いをふり返り、よかったところやさらに良い話し合いにするにはどうしたらよいかを確認させる。 ・振り返りの視点をもたせることで、自分たちの話し合いを客観的に振り返ることができるようにする。 ・早く話し合いが終わったグループには発表用の資料を作成するように声をかける。 ・全体場で話し合いをふり返り、よい話し合いについて共有することで役割や話し合いのポイントを再度確認させる。 ・ノートに振り返りを行い、本時の学習で学んだことを明らかにすることで話し合いのポイントについて理解を深められるようにする。 	<p>ワークシート</p>
-------------------	--	--	---------------

(3) 授業実践 第5学年

1 単元名 伝わるように構成を考えよう～自然教室の活動報告をしよう～

(主な学習材：「町じまん」をすいせんしよう 教育出版)

2 単元の目標

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
[知識及び技能] (2) イ
- ・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。
[思考力、判断力、表現力等] A (1) イ
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
[思考力、判断力、表現力等] A (1) ウ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。
[学びに向かう力、人間性等]

3 単元観

本単元は、目的や意図に応じて、事柄の良さや内容を説明するために、構成や話し方を工夫して話すことをねらい通している。本校の5年生は、本単元の学習と同じ時期に、手賀の丘青少年自然の家で行われた自然教室に参加している。来年度初めて自然教室に行く4年生に、手賀の丘青少年自然の家はどのような所で、どのような活動ができるかや、自然教室に参加する上で大切なこと（心構えや態度など）を報告するという言語活動を設定した。4年生にどのようなことを伝えたらよいかグループごとに話し合い、より伝えたい内容がはっきりするよう内容や構成、資料の提示の仕方を検討していく。そして、他グループとの交流や、自分達の発表の様子を撮影した動画を見返す活動を通して、客観的に自分達の発表を振り返り、よりよい発表になるよう修正していくことで、より聞き手を意識した発表になるようにしていきたい。

4 児童の実態（35名在籍）

児童はこれまでに、日直のスピーチや、国語や道徳の授業を中心とした各教科における話し合い活動などを行ってきた。聞き手に伝わるような声の大きさ、ノートや資料を見せたり指さしたりしながらの考えの説明、他の人の意見と比べた上での自分の意見の発表など、相手を意識したスピーチや話し合い活動に取り組んできた。しかし、話すこと聞くことを好きと答える児童は少なく、大きな声で話すことや自分から積極的に話し合いに参加することに対して苦手意識をもっている児童が多い。普段の授業の様子でも、自信をもって挙手し考えを発表できる児童がいる一方で、自分の考えをもっているが、自信をもてず、黙っている児童も少なくない。

5 単元の評価規準

知識・技能 [知・技]	思考・判断・表現 [思・判・表]	主体的に学習に取り組む態度 [主]
① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2)イ)	① 「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。(A(1)イ) ② 「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	① 積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を活かして、よさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりしよう通している。

6 指導と評価の計画 (全10時間)

学習過程	時	学習内容と学習活動	評価規準・評価方法
事前		○KJ法を用いて、「話し合い 虎の巻」づくりを行う。	
第一次	1	○教師による運動会の活動報告スピーチを聞き、感想や気付いたことを話し合う。 ○自然教室での活動を4年生に報告するという学習の見通しをもち、学習計画を立てる。	
第二次	2	○教科書教材「『町じまん』をすいせんしよう」のスピーチ例をもとに、構成や話し方の工夫をつかむ。 <構成や話し方の工夫> ・結論を先に言う。 ・推薦する理由を項目立てて順序よく言う。 ・最後にもう一度強調したいことを話す。 ・聞き手に質問や問いかけをする。 ・写真や実物の提示など視覚的情報を取り入れ、聞き手の注意をひきつける。 ・推薦する理由を裏付けするような事	[知・技①] ノート ・スピーチ例から構成や話し方の工夫を考えている。

		例や具体的データを示す。など	
	3	○推薦したいものを決め、調べる。	[思・判・表①] ワークシート
	4	○推薦したいものの「よいところ・課題」について表にまとめる。 ○推薦理由を考える。	・自分が決めたテーマについて、よいところが伝わるように理由を明確に示している。
	5	○表を整理しながら話し方の工夫を考える。 ○構成メモをもとに発表の練習をする。 ○グループでアドバイスし合ったり、録画した自分のスピーチ映像を振り返ったりする。	[思・判・表②] 観察・ワークシート ・資料を効果的に提示し、表現を工夫している。
	6	○発表会を開き、感想を交流する。 ○友達の発表の良いところを話し合い、第三次の活動への意欲をもつ。	[主①] 観察・ワークシート ・よさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりしよう通している。
第三次	7 (本時)	○自然教室の活動報告通して4年生に伝えたいことをグループごとに話し合う。 ○構成や話し方の工夫を考える。	[思・判・表①] 観察・ワークシート ・話の内容が明確になるように、話の内容を考えている。
	8		
	9	○グループごとに発表の練習をする。 ○お互いの発表を見合い、アドバイスを する。 ○他のグループからのアドバイスや、録画した自分達の発表の映像を振り返り、修正する。	[思・判・表②] 観察・ワークシート ・資料を効果的に提示し、表現を工夫している。
	10	○発表会を開き、4年生に活動報告をする。 ○感想を交流し、学習の振り返りをする。	[主①] 観察・ワークシート ・発表会を行い、よさが伝わるように説明したり、納得できるかどうか留意して聞いたりしよう通している。

8 本時の展開

(1) 評価規準

- ・4年生に伝えたいことが明確になるように、話の内容を考えている。

[思考力, 判断力, 表現力等]

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	1 本時の学習と学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室で活動したことや、印象に残っていることなどを全体で振り返り、本時で話し合うことの見通しをもつことができるようにする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 4年生に伝えたいことを話し合い、内容を考えよう。 </div>			
5	2 自然教室で印象に残っていることを全体で振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリー <ul style="list-style-type: none"> …CPなどのクイズが楽しい。協力できた。迷った。 ・プラネタリウム <ul style="list-style-type: none"> …アニメの解説が面白かった。4年生で習った星が見られて良かった。 ・うちわ作り <ul style="list-style-type: none"> …オリジナルのうちわができてうれしかった。自由に絵を描けて楽しかった。など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室で印象に残っていることや感想を全体で振り返り、板書することで、話し合う観点が明確になるようにする。 	
25	3 グループごとに、4年生に伝えたいことを話し合い、内容を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ考えてきた内容をグループで交流し、その中でより伝えたいことを検討していくよう伝える。 ・来年度「初めて」自然教室に行く4年生に伝えるということを意識するよう声かけをする。 ・伝えたいことが明らかになってきたら、どのような資料をどこで用いたいのか検討するよう促す。 ・伝えたいことが浮かばない児童には、自分が4年生だったらどのようなことを事前に知りたいか考えるよう指導する。 	ワークシート 自然教室の写真

5	4 話し合った内容を全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで上手く話せない児童には、「話し合いのことば」を参考にしながら話すことよいことを指導する。 ○4年生に伝えたいことが明確になるように、話の内容を工夫することができる。 [思・判・表①] 観察・ワークシート 	
5	5 今日の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループが選んだ内容や資料について、自分達のグループの発表に生かせるものはないか考えながら聞くよう伝える。 ・本時の学習から学んだことや、感想をワークシートに書くようにする。 	ワークシート